

# 設定マニュアル

## RadiForce® MX191

カラー液晶モニター

### 重要

ご使用前には必ずこの設定マニュアルおよび取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

- コンピュータとの接続から使いはじめるまでの基本説明については取扱説明書をお読みください。
- 最新の設定マニュアルは、当社のWebサイトからダウンロードできます。  
<http://www.eizo.co.jp>



製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
- 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。


# 目次

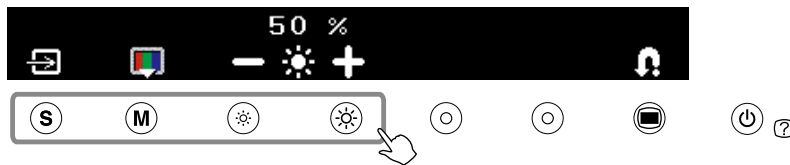
目次	3	第4章 省電力機能について	19
第1章 基本操作と機能一覧	4	4-1. 省電力モードについて	19
1-1. 調整メニューの基本操作方法	4	● デジタル信号入力の場合	19
● 調整メニューを表示する	4	● アナログ信号入力の場合	19
● 設定を変更する	4	4-2. 電源ランプの表示を設定する	19
● 機能名を表示する	4	4-3. モニターの自動明るさ調整を設定する	20
● 設定を保存する/調整メニューを終了する	4	4-4. モニターの自動電源切断機能を設定する	20
1-2. 機能一覧	5	第5章 こんなときは	21
第2章 画面を調整する	6	5-1. 画面が表示されない場合	21
2-1. 対応解像度	6	5-2. 画面に関する症状（デジタル、アナログ共通）	22
2-2. 解像度を設定する	6	5-3. 画面に関する症状（デジタルのみ）	22
● Windows 10の場合	6	5-4. 画面に関する症状（アナログのみ）	23
● Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7の場合	6	5-5. その他の症状	23
● Windows Vistaの場合	6	5-6. USBに関する症状	23
● OS X Mountain Lion（10.8）以降の場合	7	第6章 ご参考に	24
● Mac OS X 10.7の場合	7	6-1. アーム取付方法	24
2-3. カラーを調整する	7	6-2. 複数のコンピュータを接続する	25
● 表示モード（CAL Switchモード）を選択する	7	● 入力信号を切り替える	25
● 詳細な調整をする	8	● 入力信号の切替方法を設定する	26
● 各モードの調整項目	8	6-3. モニター情報を表示する	26
● ブライトネス（明るさ）を調整する	8	6-4. 主な初期設定値	27
● コントラストを調整する	9	6-5. プリセットタイミング	28
● 色温度を調整する	9		
● ガンマを調整する	10		
● ゲインを調整する	10		
● 色合いを調整する	11		
● 色の濃さを調整する	11		
2-4. 画面を調整する	12		
● デジタル信号入力の場合	12		
● アナログ信号入力の場合	12		
2-5. シャープネスを調整する	15		
第3章 モニターを設定する	16		
3-1. 表示言語を設定する	16		
3-2. EIZOロゴを表示/非表示にする	16		
3-3. 操作ボタンをロックする	17		
3-4. 初期設定に戻す	18		
● カラー調整値をリセットする	18		
● すべての設定内容をリセットする	18		

# 第1章 基本操作と機能一覧

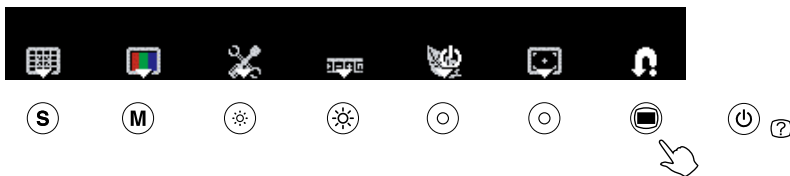
## 1-1. 調整メニューの基本操作方法

### ● 調整メニューを表示する

設定を変更する機能のボタンもしくは  を押すと、調整メニューが表示されます。  
入力切替、モード、ブライツネス（明るさ）調整ボタンを押した場合






メニューボタンを押した場合




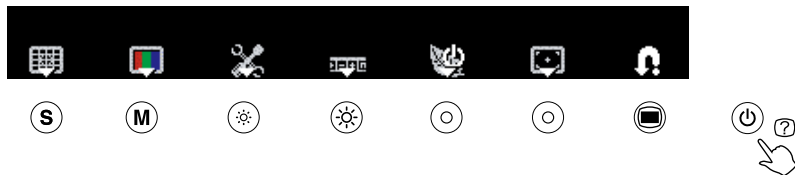
### ● 設定を変更する

アイコンによって、操作方法が異なります。

表示例	操作方法
	+/-が表示されているアイコンは、+を選択すると数値が大きくなり、-を選択すると数値が小さくなります。
	▽のイラストが下部に表示されているアイコンを選択すると、次のメニューが表示されます。
	選択することにより、有効/無効が切り替わります。無効時はアイコンに×が表示されます。

### ● 機能名を表示する



1. 調整メニューが表示されているときに、 を押します。



2. 機能名が表示されます。



### ● 設定を保存する/調整メニューを終了する

設定終了後  を選択すると、設定内容が保存されます。繰り返し  を選択すると調整メニューが終了します。

#### 参考

・調整メニューは45秒間操作がない場合、自動で終了します。

## 1-2. 機能一覧

調整メニューの設定項目の一覧表です。

アイコン	機能名	説明
	—	設定内容を確定します。繰り返し選択すると調整メニューが終了します。
アナログ調整		
	オートサイズ	画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく自動調整されます。 調整前の状態に戻ります。 調整内容を確定します。
	オートレンジ	信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0～255）を表示できるように調整できます。 調整前の状態に戻ります。 調整内容を確定します。
	手動調整	自動調整できなかった場合に詳細な調整をします。クロック→フェーズ→ポジションを順に調整します。
	クロック	縦縞を消します。
	フェーズ	ちらつきやにじみをとります。
	ポジション	表示位置のずれを直します。 で調整します。
カラー		
	カラーメニューモード*	CAL Switchモードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切替えることができます。ボタンを押すたびにCAL Switchモードが切り替わります。
	ブライトネス	画面全体の明るさを調整します。 調整範囲：0～100%
	コントラスト	画像のコントラストを調整します。 調整範囲：0～100%
	ゲイン	赤・緑・青の割合を設定し、色調を調整します。 調整範囲：0～100% 赤の割合を設定します。 緑の割合を設定します。 青の割合を設定します。
	詳細メニュー	色合い、色の濃さの各機能を調整します。
	色合い	色合いを調整します。値を高くすると緑がかった色になり、値を低くすると紫がかった色になります。 調整範囲：-100～100
	色の濃さ	色の濃さを調整します。 調整範囲：-100～100
	色温度	色温度を調整します。色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。 調整範囲：Native、6500K～15000K（500K単位、9300K含む）、User（ゲイン調整時）
	ガンマ	ガンマ値を調整します。 調整範囲：1.8、2.0、2.2

アイコン	機能名	説明
ツール		
	信号情報	入力信号（アナログ/デジタル）、解像度、水平・垂直周波数を表示します。
	資産情報	機種名、使用時間、製造番号を表示します。
	入力信号	入力信号を自動で検出するかどうかを設定します。選択することによりオート/マニュアルが切り替わります。
	リセット	設定内容を工場出荷状態に戻す調整メニューです。 <b>注意点</b> ・リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。 すべて： すべての設定内容を初期状態（工場出荷状態）に戻します。 カラー（CUS*）： 現在選択しているCAL Switchモードのカラー調整値のみを初期状態（工場出荷状態）に戻します。
メニュー設定		
	言語	調整メニューやメッセージの表示言語が選択できます。選択することにより言語が切り替わります。
パワーセーブ		
	Auto EcoView	Auto EcoView（オートエコビュー）を有効にすると、モニター正面のセンサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。選択することにより有効/無効が切り替わります。
	電源ランプ	画面表示時の電源ランプ（青）の点灯/消灯の切り替えができます。選択することにより点灯/消灯が切り替わります。
	オフタイマー	モニターの使用時間を設定することによって、設定した時間が経過すると自動的にモニターの電源が切れます。モニターに長時間同じ画像を表示させていると生じる残像現象を軽減する場合にも役立ちます。一日中同じ画像を表示させておくような場合にご利用ください。 調整範囲：オフ、1～23h
スクリーン		
	シャープネス	画像を構成するピクセル間の色の差を強調することにより、画像の輪郭を強調するとともに質感・素材感を向上させる機能です。逆に輪郭をぼかして画像をなめらかに見せることもできます。

\*1 現在選択しているCAL Switchモード名が表示されません。

## 第2章 画面を調整する

### 2-1. 対応解像度

この製品の対応解像度については、取扱説明書「対応解像度」を参照してください。

### 2-2. 解像度を設定する

#### ● Windows 10の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「ディスプレイ設定」をクリックします。
3. 「ディスプレイのカスタマイズ」ダイアログボックスで「ディスプレイの詳細設定」をクリックします。
4. モニターを選択し、「解像度」のプルダウンメニューから解像度を選択します。
5. 「適用」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「変更を維持する」ボタンをクリックします。

#### ● Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7の場合

1. Windows 8.1 / Windows 8の場合、スタート画面から「デスクトップ」のタイルをクリックして、デスクトップを表示します。
2. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
3. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
4. 「画面の解像度」ダイアログボックスで、モニターを選択します。
5. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
6. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
7. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「変更を維持する」ボタンをクリックします。

#### ● Windows Vistaの場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログボックスで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

## ● OS X Mountain Lion (10.8) 以降の場合

1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ディスプレイ」をクリックします。(OS X Mountain Lion (10.8) の場合は、「ハードウェア」欄から「ディスプレイ」をクリックします。)
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」から「変更」を選択します。
4. 設定可能な解像度の一覧が表示されるので、一覧から解像度を選択します。  
目的の解像度が一覧に表示されない場合は、キーボードのOptionキーを押しながら「変更」を選択してください。
5. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

## ● Mac OS X 10.7の場合





1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

## 2-3. カラーを調整する




### ● 表示モード (CAL Switchモード) を選択する

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

#### モードの種類



モード	目的
 (DICOM-CL)	DICOM-CLモード。X線フィルム色(Clear base)に合わせた設定をします。
 (TXT)	Textモード。文書作成や表計算などの文字表示に適しています。
 (CUS)	Customモード。好みに応じた色設定をおこなう際に選択します。
 (CAL)	CALモード。キャリブレーションソフトウェアによる調整状態で表示します。

#### 設定方法

1.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
2. 調整メニューが表示されている間に、 を押します。  
ボタンを押すたびに、CAL Switchモードが切り替わります。
3.  を選択します。  
選択したモードが確定します。

[->DICOM-CL->TXT->CUS->CAL->]


#### 参考

- CAL Switchモードは、 を押し、 (カラー) を選択して切り替えることもできます。

## ● 詳細な調整をする

CAL Switchのモードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

### 注意点

- ・製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れたあと、または省電力モードから復帰して30分以上経過するまでお待ちください。
- ・アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、最初に  (オートレンジ) をおこなってください。(「色階調を自動調整する」(P.15) 参照)
- ・モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。








### 参考

- ・「%」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。

## ● 各モードの調整項目

CAL Switchのモードの種類により、調整できる機能が異なります。(調整/設定できない機能は選択できません。)

○：調整可 ー：調整不可

アイコン	機能名	CAL Switchモード			
		DICOM-CL	TXT	CUS	CAL
	ブライトネス	ー	○	○	ー
	コントラスト	ー	○	○	ー
	色温度	ー	○	○	ー
	ガンマ	ー	○	○	ー
	ゲイン	ー	ー	○	ー
	色の濃さ	ー	ー	○	ー
	色合い	ー	ー	○	ー

※1 専用のキャリブレーションキット (RadiCS LE / 取扱説明書の「オプション品」参照) を使用して、このモードでキャリブレーションをおこなった場合、調整項目は「ブライトネス」と「カラーリセット」のみになります。







## ● ブライトネス (明るさ) を調整する

バックライト (液晶パネル背面の光源) の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。



### 設定範囲

0~100%

### 設定方法

1.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
2.  (カラー) を選択します。
3.  (ブライトネス) の  または  で調整します。
4.  を選択します。  
調整が完了します。

### 参考

- ・調整メニューが表示されていない状態で、 または  で調整することもできます。









## ● コントラストを調整する

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

### 設定範囲





0~100%

### 設定方法

1.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
2.  (カラー) を選択します。
3.  (コントラスト) の  または  で調整します。
4.  を選択します。  
調整が完了します。

---

### 参考

- ・調整メニューが表示されていない状態で、 を押し、 (コントラスト) の  または  で調整することもできます。
  - ・50%で全ての色階調を表示します。
  - ・画面の明るさは、はじめに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをおすすめします。  
コントラスト調整は以下のような場合に使用してください。
    - ブライトネスが100%でも画面が暗く感じた時
    - 画面の黒レベルが明るいと感じた時 (ブライトネスを下げてコントラストを50%以上に設定します)
- 

## ● 色温度を調整する

色温度を調整します。








通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

### 設定範囲

Native、6000K~15000K（500K単位、9300Kを含む）、User（ゲイン調整時）

### 設定方法

1.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
2.  (カラー) を選択します。
3.  (カラーメニュー) を選択します。
4.  (色温度) の  または  で調整します。
5.  を選択します。  
調整が完了します。

---

### 参考

- ・「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する」(P.10) 参照）。
  - ・「Native」でパネル本来の色（ゲインの値はRGB各100%）になります。
  - ・ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
-








## ● ガンマを調整する

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

### 設定範囲

1.8、2.0、2.2

### 設定方法

1.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
2.  (カラー) を選択します。
3.  (カラーメニュー) を選択します。
4.  (ガンマ) の  または  で調整します。
5.  を選択します。  
調整が完了します。











## ● ゲインを調整する

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

### 設定範囲

0~100%

### 設定方法

1.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
2.  (カラー) を選択します。
3.  (カラーメニュー) を選択します。
4.  (ゲイン) を選択します。
5.  (赤)  (緑)  (青) それぞれの  または  で調整します。
6.  を選択します。  
調整が完了します。

---

#### 参考

- ・色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
  - ・ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
-









## ● 色合いを調整する

色合いを調整します。値を高くすると緑がかった色になり、値を低くすると紫がかった色になります。

### 設定範囲

-100～100

### 設定方法

1.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
2.  (カラー) を選択します。
3.  (カラーメニュー) を選択します。
4.  (詳細メニュー) を選択します。
5.  (色合い) の  または  で調整します。
6.  を選択します。  
調整が完了します。

---

### 注意点

- ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
- 









## ● 色の濃さを調整する

色の濃さを調整します。

### 設定範囲

-100～100

### 設定方法

1.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
2.  (カラー) を選択します。
3.  (カラーメニュー) を選択します。
4.  (詳細メニュー) を選択します。
5.  (色の濃さ) の  または  で調整します。
6.  を選択します。  
調整が完了します。

---

### 注意点

- ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
- 

### 参考

- ・最小値 (-100) で白黒の画面となります。
-

## 2-4. 画面を調整する

### ● デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、この製品の設定データに基づいて画面が正しく表示されますが、詳細な調整をおこなう場合は「2-3. カラーを調整する」(P.7)以降を参照してください。

### ● アナログ信号入力の場合

#### 注意点

- ・製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れたあと、または省電力モードから復帰して30分以上経過するまでお待ちください。
- ・解像度800×600 (SVGA) 未満の信号ではセルフアジャスト機能(自動画面調整機能)は働きません。
- ・セルフアジャスト機能/自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。
  - コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合
  - 壁紙など背景を黒で使用している場合また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。

#### 参考

- ・次の場合にセルフアジャスト機能が働きます。
  - モニターに初めて信号を入力した場合、または、これまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、水平走査周波数に変更した場合






セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくために、次の設定手順に従って画面を調整してください。

## 設定手順

### 1. 自動調整をします。

- 画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整する

#### 設定方法

1.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
2.  (アナログ調整) を選択します。
3.  (オートサイズ) を選択します。  
自動調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。
4. 画面を確認して  (OK) を選択します。  
 (元に戻す) を選択すると、調整前の状態に戻ります。

自動調整を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。  
正確に表示された場合は、「5. 色階調を調整します。」(P.15)にお進みください。

## 2. アナログ画面調整用のパターンを準備します。

当社のWeb サイト (<http://www.eizo.co.jp>) から「画面調整パターン集」をダウンロードしてください。

### 参考

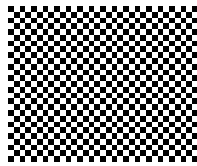
- ・「画面調整パターン集」の開き方および内容については、ダウンロードしたReadmeja.txtファイルを参照してください。






## 3. アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。

- 画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整する

### 設定方法


1. 「画面調整パターン集」のパターン1を画面全体に表示します。



2.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
3.  (アナログ調整) を選択します。
4.  (オートサイズ) を選択します。  
自動調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。
5. 画面を確認して  (OK) を選択します。  
 (元に戻す) を選択すると、調整前の状態に戻ります。

自動調整を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。  
正確に表示された場合は、「5. 色階調を調整します。」(P.15) にお進みください。

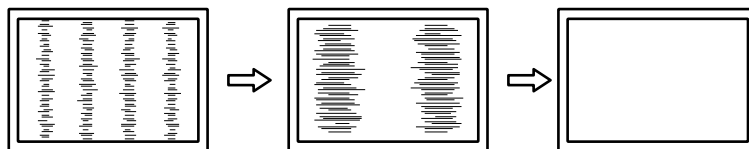
## 4. 調整メニューの で詳細な調整をします。

 (手動調整) を選択し、クロック→フェーズ→ポジションを順に調整します。

- 縦縞を消す

### 設定方法

1.  (クロック) の  または  で縦縞が消えるように調整します。



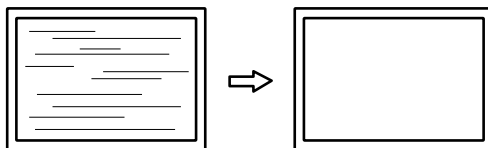
### 参考

- ・調整が合ったポイントを見逃しやすいので、コントロールボタンはゆっくり押して調整するようにしてください。
- ・調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる」にすみ調整をおこなってください。

● ちらつきやにじみをとる

**設定方法**

1.  (フェーズ) の  または  で最もちらつきやにじみのない画面に調整します。



**注意点**

- ・お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくなるものがあります。

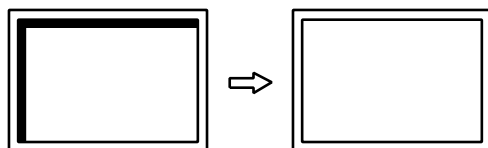
● 表示位置のずれを直す

**参考**

- ・液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

**設定方法**

1.  (ポジション) を選択します。
2. 画像の位置が合うように  (左) /  (右) /  (下) /  (上) で調整します。
3.  を選択します。  
調整が完了します。



**参考**

- ・調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す」に戻り、再度調整をおこなってください。(クロック → フェーズ → ポジション)

4. パターン1を閉じます。

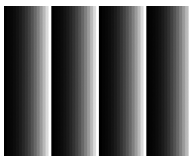
## 5. 色階調を調整します。






### ● 色階調を自動調整する

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0～255）を表示できるように調整できます。

#### 設定方法

1. 「画面調整パターン集」のパターン2を画面全体に表示します。



2.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
3. （アナログ調整）を選択します。
4. （オートレンジ）を選択します。  
色階調が自動的に調整されます。
5. 画面を確認して （OK）を選択します。  
（元に戻す）を選択すると、調整前の状態に戻ります。
6. パターン2を閉じます。







## 2-5. シャープネスを調整する

画像を構成するピクセル間の色の差を強調することにより、画像の輪郭を強調するとともに質感・素材感を向上させる機能です。逆に輪郭をぼかして画像をなめらかに見せることもできます。

#### 調整範囲

-3～3

#### 設定方法

1.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
2. （スクリーン）を選択します。
3. （シャープネス）の  または  で調整します。
4.  を選択します。  
調整が完了します。

## 第3章 モニターを設定する




### 3-1. 表示言語を設定する

調整メニューやメッセージの表示言語が選択できます。


#### 選択できる言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、中国語（簡体）、中国語（繁体）、日本語

#### 設定方法

1.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
2. （メニュー設定）を選択します。
3. （言語）を選択することにより言語が切り替わります。




	英語
	ドイツ語
	フランス語
	スペイン語
	イタリア語
	スウェーデン語
	中国語（簡体）
	中国語（繁体）
	日本語

5.  を選択します。  
選択した内容が確定します。

### 3-2. EIZOロゴを表示/非表示にする

EIZOロゴの表示/非表示の切り替えができます。

#### 設定方法

1.  を押して、モニターの電源を切ります。
2.  を押しながら  を押してモニターの電源を入れます。  
操作を実行することにより表示/非表示が切り替わります。



### 3-3. 操作ボタンをロックする





設定した状態を変更できないようにします。




ロックには「キーロック」と「メニューロック」の2種類があります。


キーロック・・・電源以外のボタンをロックします。

メニューロック・・・電源、入力切替、モード以外のボタンをロックします。

#### 設定方法

1.  を押して、モニターの電源を切ります。
2.  を押しながら  を押してモニターの電源を入れます。  
調整メニューが表示されます。
3.  を押すごとに設定が切り替わります。

	解除
	メニューロック
	キーロック

4.  を選択します。  
選択した内容が確定します。

---

#### 注意点

- RadiCS / RadiCS LEを使用してキャリブレーションした場合にもキーロック機能が動作します。
-

## 3-4. 初期設定に戻す

リセットには、カラー調整のみを初期設定に戻すカラーリセットと、すべての設定内容を初期設定に戻すオールリセットの2種類があります。

### 注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。






### 参考

- 初期値については、「6-4. 主な初期設定値」(P.27)を参照してください。

### ● カラー調整値をリセットする

現在選択しているCAL Switchモードのカラー調整値のみを初期設定に戻します。






#### 設定方法

-  を押します。  
調整メニューが表示されます。
-  (ツール) を選択します。
-  (リセット) を選択します。  
リセットを実行しない場合は、 を選択します。
-  (カラー (CUS<sup>※1</sup>)) を選択します。  
カラー調整値が初期状態になります。  
※1 現在選択しているCAL Switchモード名が表示されます。

### ● すべての設定内容をリセットする

すべての設定内容を初期設定に戻します。

#### 設定方法

-  を押します。  
調整メニューが表示されます。
-  (ツール) を選択します。
-  (リセット) を選択します。  
リセットを実行しない場合は、 を選択します。
-  (すべて) を選択します。  
すべての設定内容が初期状態になります。

# 第4章 省電力機能について

## 4-1. 省電力モードについて

### 注意点

- ・ モニターを使用しない時は、電源プラグを抜くことで電源が消費されなくなります。
- ・ パワーセーブ移行の5秒前になると予告メッセージが表示されます。

### ● デジタル信号入力の場合

この製品は「DVI DMPM」に準拠しています。

#### 省電力の流れ

コンピュータの設定に連動し5秒後に省電力モードに入ります。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
省電力モード	省電力モード	橙

#### 復帰方法

キーボードまたはマウスを操作します。

### ● アナログ信号入力の場合

この製品は「VESA DPM」に準拠しています。

#### 省電力の流れ

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
省電力モード	スタンバイ サスペンド オフ	橙




#### 復帰方法



キーボードまたはマウスを操作します。


## 4-2. 電源ランプの表示を設定する

画面表示時の電源ランプ（青）の点灯/消灯の切り替えができます。

### 設定方法

1.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
2.  （パワーセーブ）を選択します。
3.  （電源ランプ）を選択すると点灯と消灯が切り替わります。

	点灯
	消灯

4.  を選択します。  
選択した内容が確定します。




## 4-3. モニターの自動明るさ調整を設定する



Auto EcoView（オートエコビュー）を有効にするとモニター正面のセンサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。


### 注意点

- ・「DICOM-CL」モード、「CAL」モードでは、使用できません。

### 設定方法

1.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
2. （パワーセーブ）を選択します。
3. （Auto EcoView）を選択することにより有効/無効が切り替わります。

	有効
	無効

4.  を選択します。  
選択した内容が確定します。








## 4-4. モニターの自動電源切断機能を設定する

モニターの使用時間を設定することによって、設定した時間が経過すると自動的にモニターの電源が切れます。モニターに長時間同じ画像を表示させていると生じる残像現象を軽減する場合にも役立ちます。一日中同じ画像を表示させておくような場合にご利用ください。

### 調整範囲

オフ、1～23h

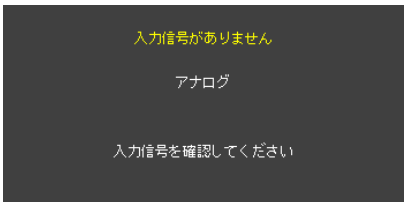

### 設定方法

1.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
2. （パワーセーブ）を選択します。
3. （オフタイマー）の  または  でモニターの電源を切る時間を設定します。  
オフタイマーを無効にする場合は、「オフ」を選択してください。
4.  を選択します。  
選択した内容が確定します。
5. 設定時間の1分前になると、「まもなく電源が切れます」というメッセージが表示されます。  
（延長）を選択すると、90分延長します。

# 第5章 こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはEIZOサポートにご相談ください。

## 5-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
<b>1. 画面が表示されない</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源ランプが点灯しない</li> <li>電源ランプが点灯：青色</li> <li>電源ランプが点灯：橙色</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードは正しく接続されていますか。</li> <li>Ⓞを押してください。</li> <li>調整メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「<a href="#">詳細な調整をする</a>」(P.8)参照）。</li> <li>Ⓢで入力信号を切り替えてみてください。</li> <li>マウス、キーボードを操作してみてください。</li> <li>コンピュータの電源は入っていますか。</li> </ul>
<b>2. 次のようなメッセージが表示される</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>信号が入力されていない場合の表示です。 例：   </li> <li>入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。（範囲外の周波数は黄色で表示されます。） 例：   </li> </ul>	<p>この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出ないため、左のような画面が表示されることがあります。</li> <li>コンピュータの電源は入っていますか。</li> <li>信号ケーブルは正しく接続されていますか。</li> <li>Ⓢで入力信号を切り替えてみてください。</li> <li>コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（取扱説明書「<a href="#">対応解像度</a>」参照）。</li> <li>コンピュータを再起動してみてください。</li> <li>グラフィックボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックボードの取扱説明書を参照してください。</li> </ul>
fD：ドットクロック（デジタル信号入力時のみ表示されます。） fH：水平走査周波数 fV：垂直走査周波数	




## 5-2. 画面に関する症状（デジタル、アナログ共通）

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる/暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"><li>調整メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してください。（液晶モニターバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZOサポートにご相談ください。）</li></ul>
2. 文字がぼやけて見える	<ul style="list-style-type: none"><li>コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（取扱説明書「対応解像度について」参照）。</li></ul>
3. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"><li>この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。</li><li>長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。</li></ul>
4. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"><li>これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。</li></ul>
5. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを押した跡が消えない	<ul style="list-style-type: none"><li>画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。</li></ul>
6. 文字に色がつく	<ul style="list-style-type: none"><li>「シャープネス」が強くなっていると文字に色がつく場合があります。</li></ul>

## 5-3. 画面に関する症状（デジタルのみ）

症状	原因と対処方法
1. 画面にノイズが現れる	<ul style="list-style-type: none"><li>HDCP方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。</li></ul>
2. 自動調整機能が動作しない	<ul style="list-style-type: none"><li>自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。</li></ul>

## 5-4. 画面に関する症状（アナログのみ）

症状	原因と対処方法
1. 画像がずれている 	<ul style="list-style-type: none"> <li>調整メニューの「ポジション」で画像の位置を合わせてください（「表示位置のずれを直す」（P.14）参照）。</li> <li>グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。</li> </ul>
2. 画面に縦線が出ている/画面の一部がちらついている 	<ul style="list-style-type: none"> <li>調整メニューの「クロック」で調整してみてください（「縦縞を消す」（P.13）参照）。</li> </ul>
3. 画面全体がちらつく、にじむように見える 	<ul style="list-style-type: none"> <li>調整メニューの「フェーズ」で調整してみてください（「ちらつきやにじみをとる」（P.14）参照）。</li> </ul>
4. 自動調整機能が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>この機能はWindows など表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。</li> <li>一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。</li> </ul>

## 5-5. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 調整メニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「3-3. 操作ボタンをロックする」（P.17）参照）。</li> </ul>

## 5-6. USBに関する症状

症状	原因と対処方法
1. USBケーブルで接続したモニターが認識されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>USBケーブルは正しく接続されていますか。</li> <li>コンピュータを再起動してみてください。</li> <li>ご使用のコンピュータおよびOSがUSBに対応しているかご確認ください（各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください）。</li> <li>Windowsをご使用の場合、コンピュータに搭載されているBIOSのUSBに関する設定をご確認ください（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください）。</li> </ul>

## 第6章 ご参考に

### 6-1. アーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社のWebサイトを参照してください。 <http://www.eizo.co.jp>

#### 注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものを選択してください。
  - 取付部のネジ穴間隔：100mm×100mm
  - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合、取り付けには次のねじをご使用ください。
  - この製品に付属しているねじ（M4×12mm）
- アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
  - 上45°下45°（横表示時、および時計回り90°に縦表示時）
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- 取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させると、けがや故障の原因となります。
- モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。
- 縦置きに設置する場合は、モニター画面を時計回りに90°回転してください。

#### 取付方法

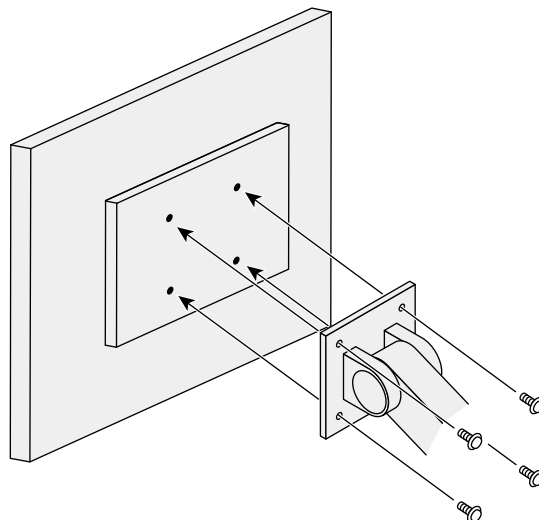
**1. パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。**

**2. スタンド部分を取り外します。**

別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ4箇所を取り外します。

**3. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。**

この製品に付属しているねじを使用して取り付けます。

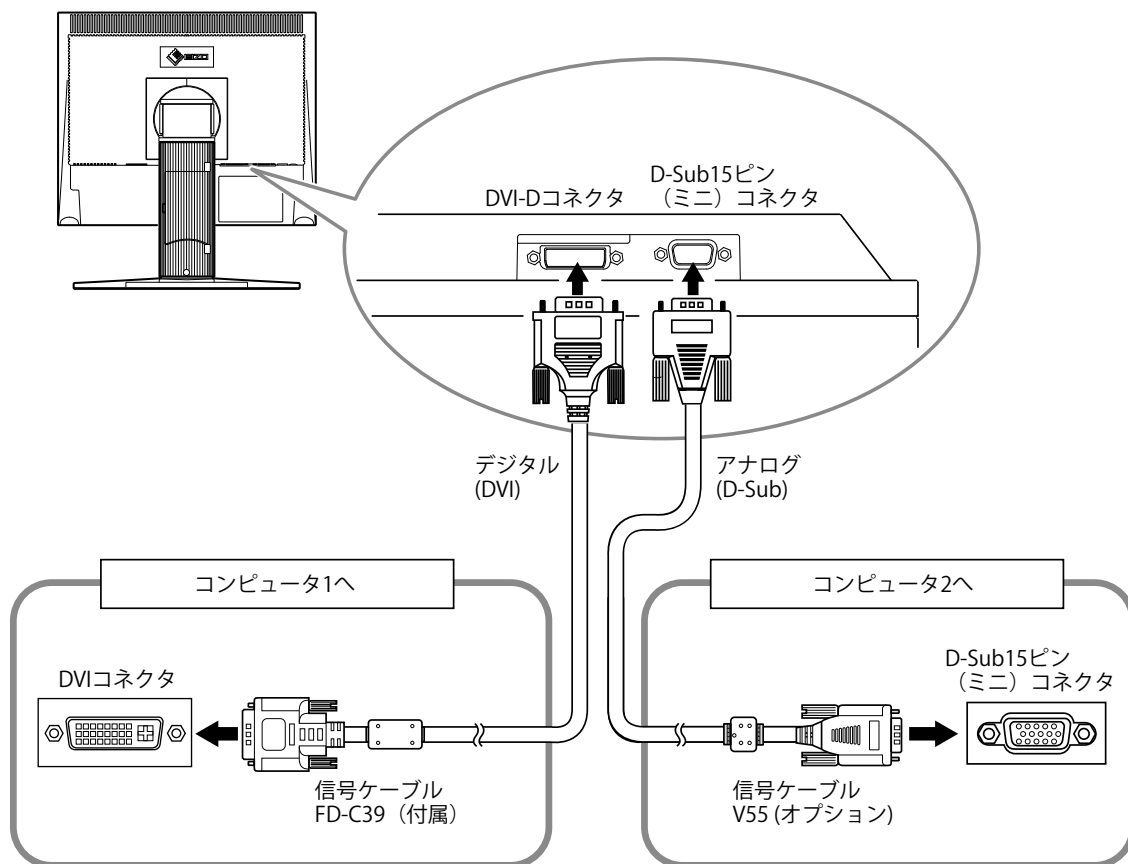




## 6-2. 複数のコンピュータを接続する

この製品は、複数のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

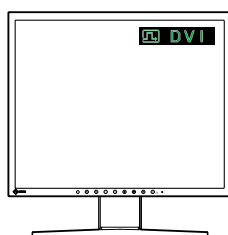
### 接続例



### ● 入力信号を切り替える

#### 設定方法




Ⓢ を押すたびに入力信号が切り替わります。  
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。






## ● 入力信号の切替方法を設定する

設定	機能
オート	コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。コンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に、他の信号を表示します。
マニュアル	信号が入力されているかどうかにかかわらず、選択されているコネクタからの信号を表示します。操作ボタンの <b>S</b> で表示させたい入力信号を選択してください。

### 設定方法

1.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
2.  (ツール) を選択します。
3.  (入力信号) を選択することによりオート/マニュアルが切り替わります。

	オート
	マニュアル

4.  を選択します。  
選択した内容が確定します。

### 参考






- ・「オート」が選択されている場合は、すべてのコンピュータが省電力モードに入っている場合のみモニターの省電力機能が動作します。

## 6-3. モニター情報を表示する

入力信号、解像度、機種名などを表示します。

信号情報・・・ 入力信号（アナログ/デジタル）、解像度、水平・垂直周波数  
資産情報・・・ 機種名、使用時間、製造番号

### 設定方法

1.  を押します。  
調整メニューが表示されます。
2.  (ツール) を選択します。
3.  (信号情報) または  (資産情報) を選択します。
4.  を選択します。  
表示が終了します。

## 6-4. 主な初期設定値

CAL Switchモード：工場出荷時の表示設定はDICOM-CLです。

モード	輝度	色温度	ガンマ値
DICOM-CL	170cd/m <sup>2</sup>	7500K	DICOM
Text	約100 cd/m <sup>2</sup>	7500K	2.2
Custom	約300 cd/m <sup>2</sup>	Native	2.2
CAL	170cd/m <sup>2</sup>	7500K	DICOM

### その他

Auto EcoView		無効
オフタイマー		無効
入力信号		オート
言語選択		日本語
シャープネス		0

## 6-5. プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているアナログ信号のタイミングは次のとおりです。

### 注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置などがずれ、調整メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

解像度	周波数	
	水平：kHz	垂直：Hz
640 × 400	24.83	56.42
640 × 400	31.48	70.10
640 × 480	31.47	59.94
640 × 480	37.86	72.81
640 × 480	37.50	75.00
720 × 400	31.47	70.09
800 × 600	35.16	56.25
800 × 600	37.88	60.32
800 × 600	48.08	72.19
800 × 600	46.88	75.00
1024 × 768	48.36	60.00
1024 × 768	56.48	70.07
1024 × 768	60.02	75.03
1152 × 864	67.50	75.00
1280 × 960	60.00	60.00
1280 × 1024	63.98	60.02
1280 × 1024	79.98	75.03

